

地域貢献活動「河原田商店街パンフレット記事作成」実施計画

3学年総合担当 増田

1 ねらい

- (1) 河原田商店街のインタビュー活動やパンフレット記事作りを通して、地域の課題を自分の事として捉え、地域活性化のために主体的に行動しようとする態度を養う。
- (2) 地域おこし協力隊と共に取り組むことで、自らの行動が地域貢献に繋がることを自覚すると共に、自己有用感を高める。

2 企画の背景

生徒は、9月より国際理解教育として、「考えよう！持続可能な社会の実現のために、私たちができること～タイにおける国際協力から佐渡の未来を考える～」をテーマに、タイの諸問題から国際協力・開発の必要性やあり方、日本の役割について理解を深め、そこから持続可能な社会の実現のために地元・佐渡の現状と将来について考えてきた。10月20日には、佐和田地区で活動する地域おこし協力隊の斉藤隊員から、自身の活動や経験を通して見た「佐渡の魅力や強み、課題、今後の可能性」を講話いただいた。斉藤隊員は現在、河原田商店街のシャッター通りの現状を切実に受け止めており、「地域を盛り上げるためには、高齢となっている店主たちを元気にすること。そのために若い中学生の協力のもと、店の魅力を引き出し、それらを発信して広めたい」と考えていた。今回、3年生の総合授業の学習テーマ「地域貢献、地域の課題解決」と斉藤隊員の希望が合致し、本企画が実現することとなった。

3 期間と授業時数

期間：平成28年11月14日（月）～12月2日（金）（予定）

授業時数：総合的な学習の時間8時間（予定）

4 内容

「河原田商店街でのインタビュー活動及びパンフレット記事作り」

- (1) 斉藤隊員の講演から、佐渡の高齢化と商店街のシャッター通りへの危機感をもち、本活動の必要性を理解する。（事前：10月20日）
- (2) インタビューやパンフレット作りを行うことで期待できることを想像し、そのためにはどのような内容のパンフレットが有効かを考える。
- (3) 各班の興味・関心に応じてインタビューを行う店舗を決定する。その後、質問を考える。（協力店舗に事前に配布）
- (4) インタビューの仕方（会話の広げ方）、写真の撮り方などを事前指導する。（斉藤隊員より、PR法説明）
- (5) 河原田商店街でインタビュー活動を行う。（16班で20店舗（予定））
- (6) インタビュー内容を基に、店の情報や売り、魅力他、それぞれが感じたことを文章にまとめる。
- (7) 斉藤隊員に提出する。（その後、斉藤隊員により校正後、印刷業者に発注、完成）

5 日程

時限	学習内容	備考
0	・10月中に、協力店舗を確定する。（斉藤様）	11月11日（金）まで
1 (11/15)	【ガイダンス】 ①活動の趣旨、全体計画を理解する。 ②インタビューやパンフレット記事作りを行うことで期待できることを想像し、そのためにはどのような内容のパンフレットが有効かを考える。（沢根商店街の街歩きマップ紹介）	※集会室

	③各班でインタビューを希望する店舗をアンケート調査する。	
2 (11/17)	【質問事項決定】 ①インタビューを行う店舗を決定する。(アンケート結果より割り振る) ②どのような人にパンフレットを手にとってほしいかを考える。 ③質問内容を考える。	※自教室 ※質問事項を事前に協力店舗に配布する。
3 (11/24) 4限	【事前指導】 ①インタビューの仕方(会話の広げ方)、見る視点、写真の撮り方などを事前指導する。(斉藤隊員より、PR法説明) (店の魅力、商品の特徴・売り、店主の魅力、その他PRポイント、等) ②礼儀、マナー、メモの取り方などの諸注意を確認する。	※集会室 ※全体説明後、各教室でインタビュー練習
4、5 (11/24) 5・6限	【インタビュー活動】5、6限 13:30 出発、徒歩で河原田商店街へ 13:50~14:20 インタビュー活動及び写真撮影 (各班1店舗~2店舗) 14:20~14:30 河原田商店街視察 (協力店舗以外に、商店街の魅力を探す) 14:35 本町会館前でクラス毎に写真撮影 14:40 出発、徒歩で佐和田中学校へ ~15:25 自教室でメモをワークシートにまとめる。	※指定時間に協力店舗の方々にはお店にいていただく。
6、7	【パンフレット記事作成】 メモやワークシートを基に、店の情報や売り、魅力他、それぞれが感じたことを文章にまとめる。	※斉藤隊員によるPR法を復習させる。
8	①斉藤隊員からのフィードバックを紹介する。(紙面) ②活動の自己評価及び振り返りを行う。	